

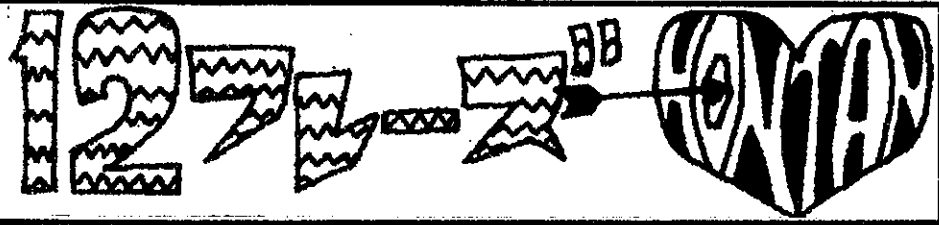
HONTAN

図書館ホントア「本撰」が
旬の図書館情報をお知らせします

おいしい
情報がいっぱい



第21号
2011年10月1日



今回のテーマは、
「ほのほの、のんびり
おちつくセリフ」です。
おたずねかな秋の日に、ちょっとほっこりしてみませんか？

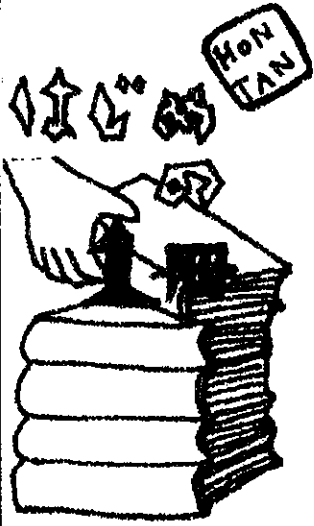
<p>栗の選ぶ おちつくセリフ</p> <p>山田悠介 913.6/Y 『その時までサヨナラ』</p> <p>「また二人に会いにくるかもしれません。なくなった妻が夫と息子に言った言葉です。」</p>	<p>N川の選ぶ おちつくセリフ</p> <p>きたやまようこ 913.8/K 『なかよし取扱説明書(大武)』</p> <p>「なかよしは、いっしょにいると、ここがはずむ」 なかよしっていいね。</p>	<p>きょうの選ぶ おちつくセリフ</p> <p>白石昌則、東農工大学の学生皆さん 049/S 『生協の白石さん』</p> <p>「焼酎、梅酒、ウイスキー」 「ロウクの三大要素は？」という質問への白石さんの答え。</p>
<p>あきの選ぶ おちつくセリフ</p> <p>坂木司 913.6/S 『和菓子のアン』</p> <p>「大きな福、書いて大福」 大福のように可愛い女の子に向けた、和菓子職人がらの一言。</p>	<p>卯月の選ぶ おちつくセリフ</p> <p>きあら ゆういち 913.8/K 『あらしのよるに』</p> <p>「嵐の夜に！」 やきとおかかみの嵐の夜を通じて生まれた友情と二匹だけが通じる秘密の合言葉。</p>	<p>Y田の選ぶ おちつくセリフ</p> <p>伊坂幸太郎 913.6/I 『陽気なギンガの日常と襲撃』</p> <p>「助けに来たんだ。君は猫派か犬派か」 緊迫した場面を和ませる久遠。</p>
<p>傘の選ぶ おちつくセリフ</p> <p>森見登美彦 913.6/M 『四畳半神話大系』</p> <p>「迷える子羊さ、こですか？」 古いをした主人公が不意に後輩に質問されたこと。</p>	<p>のずみの選ぶ おちつくセリフ</p> <p>萩原浩 913.6/O 『神様からひと言』</p> <p>「また、よろしく」 迷いから解き放たれた主人公が、再会した恋人に放った一言です。</p>	<p>とおかの選ぶ おちつくセリフ</p> <p>森絵都 913.6/M 『永遠の出口』</p> <p>「またとんちがきいてねー、その一休」 どうしてみんなが笑いあえる、限りある時間。</p>
<p>きょうの選ぶ おちつくセリフ</p> <p>畠中恵 913.6/H-3 『ねこのぼ』</p> <p>「いつもは茶石宛に半分がせいせいなのに！大丈夫ですか、若旦那」 若旦那(愛され系)。</p>	<p>なのかの選ぶ おちつくセリフ</p> <p>小手鞠うい 913.6/K 『愛を海に還して』</p> <p>「必ず来てくれるとわかっている人を待つのは、悪いものじゃないです」 遅刻を怒られないっていいな。</p>	<p>珠の選ぶ おちつくセリフ</p> <p>有川浩 913.6/A 『阪急電車』</p> <p>「いい部屋が見つかるといいね」 人生色々なことがあるけれど、終わりよければ全て良かったりするんです。</p>

今月の1冊

小路幸也 著
『ラブ・ヴィン・イン・ラブ』
913.6/S

夏は海やキャンプなど“アクティブ”だった人も多いのでは。秋になった今は落ちついた小説を読みたいという人も多いはず。夏が舞台ですが、穏やかな秋の日にゆっくりと読みたい1冊を紹介します。映画撮影のため撮影現場の古い家に集まった俳優達。実は彼らはただの俳優という関係ではない。兄の準一と腹違いの弟の裕。裕の婚約者の真理。準一の母親の睦子。そして準一と裕の父親である笠松市郎。決まっているのはシチュエーションとわずかな台詞だけ。演じるのは自分自身。台本のない中彼らは家族を演じていく。映画を通じて家族と向きあっていく、俳優達の物語。それぞれ胸に抱えている爆弾とは何なのか。この家族がどういうクランクアップを迎えるのか。注目です。

〈空〉



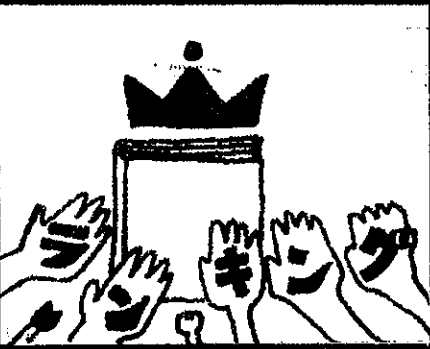
シェイクスピアを読み始めるなら ⇒『ロミオとジュリエット』 / 井正徳訳
 「おお、ロミオ、ロミオ！ どうしてあなたはロミオなの？」
 この台詞、誰もが知っているであろう有名なものですが、皆さんはこの問いかけにロミオがなんと応えたか知っていますか？
 中世のイタリアを舞台とした、宿敵同士の名家に生まれた二人が許されざる恋に翻弄され、最後には無残な死を迎えてしまう悲劇の物語……と大筋は知っているけれど、何故二人が恋に落ちたのか、そして何故物語は悲劇で幕を閉じてしまうのか細部まで説明できる人はあまり多くはないはず。実はこのロミオとジュリエット、悲劇のヒーローとヒロインの劇にはかなりのわがままだったりするのです。
 戯曲であるため、流れるような台詞回しや言葉遊びが特徴で、英語の出来る方は日本語訳のものより原文を読んだ方が面白いかもしれません。
 図書館には英語版も舞台のビデオもあるので、気になる方は是非手にとってみてください。〈珠〉

Pick up MAGAZINES

HO 11月号(14~) 今回はいつも少し趣向を変えて、本を読む場所のご提案も。HO 11月号の特集「幸せのカフェ時間」では様々なカフェが紹介されています。中でもカフェの中に本が並べられたブックカフェはおすすめ。本好きもそうでない人も、きっと楽しめるはず。注目すべきは、この雑誌が道内の情報を集めたものだということ。札幌はもちろん、小樽・岩見沢など各地のカフェ情報が満載。旅行中や帰省中にならりと立ち寄りてみてはいかがでしょうか？



舞台はNYの4つ星イタリアンレストラン「ジジー」。行列が絶えないこの店だが、実はもとはイタリアの家庭料理店だった。スタイリッシュなレストランに勝手に変えてしまった息子のシェフにオーナーは複雑な心境。他の個性的な従業員も皆、様々な事情を抱えている。そんな店にやってくる客も曲者ぞろい……。
 目にも美しい料理と共に繰り広げられる群像劇の行方は？ ⇒『ディナラッシュ』(778.72/D) 〈花蓮〉



2011年上半期
 貸出件数ランキング!
 (小説のみ)
 2011年上半期は、有川浩作品が大人気だったようです！

- | | | |
|----------------|--------|-----|
| 1 『キケン』 | 有川浩著 | 16件 |
| 2 『阪急電車』 | 有川浩著 | 12件 |
| 2 『7-9-家を買え』 | 有川浩著 | 12件 |
| 2 『ペンギン・ハイウェイ』 | 森見登美彦著 | 12件 |
| 2 『ストーリーセラ』 | 有川浩著 | 12件 |

☆ 星学祭に参加します! ☆

10月9・10日に行われる星学祭の屋内ブースにHONTANが出店します！
 出店するブースは2つ。1つは過去ポスターの展示、もう1つでは手作り焼きドーナツと雑貨を販売します。お時間がありましたら、ぜひお立ち寄り下さい☆

本探力

秋になると思う疑問がこちら。日本ではなぜハロウィンが定着しないのか？ そもそもハロウィンとは、日本でいうところのお月見(収穫祭)、お盆、節分を足したようなもの。仮装してお菓子を強請るだけのイベントじゃないんです。同じイベントを繰り返す必要はないですもんね。
 それだけでなくスポーツ、食欲、芸術、読書と、秋は忙しいのでちょっといいかもしれません。
 読書の秋におすすめ！ ⇒『ドゥイイエロー、もしくはある広場の記憶』大崎善生(413.6/0)



最近すっかり涼しくなってきました。もう秋ですね。でも北海道の秋は短いので、気づいたら冬になって、いそうな気がします。冬仕度はお早めに。
 さて、今号から新メンバーとのすみが登場しました。総勢15名となったHONTANを今後ともよろしくおねがいします。〈とあか〉